

ピロリ寒天培地 (PYL)

Pylori agar (PYL)

ヘリコバクターピロリの選択分離

用途

ピロリ寒天培地は、胃生検中の *Helicobacter pylori* の検出に用いる選択分離培地です。

Helicobacter pylori は胃炎を引き起こすとともに胃・十二指腸潰瘍の悪化に関与します(1,5)。

原理

ウマ血漿およびポリバイテックスが *Helicobacter pylori* の発育を促進します。

抗生物質により、混在するほとんどの細菌の発育が阻害されます(3)。

調整済み培地

REF 413 193 平板培地(90mm) 20 枚パック
PYL*

*各シャーレに印字

組成 (精製水中の組成(g/L))

カゼインペプトン(ウシ).....	16
ソイペプトン.....	7
肉エキス(ウシまたはブタ).....	0.15
塩化ナトリウム.....	6
寒天.....	15
血漿(ウマ).....	100mL
ポリバイテックス.....	10mL
抗生物質混合物.....	20mL
pH7.2	

必要な器材

- 大気環境調製装置
- ジャー
- ふ卵器

追加試薬

- ポルタジャーム ピロリ(Ref.42041)

使用上の注意

- *in vitro* 試験のみにおいて使用して下さい。
- 熟練者が使用して下さい。
- 本培地は動物由来の原料を含みます。由来に関する知識と由来動物の衛生状態は感染性のある病原体がないことを保証するものではありません。これらは潜在的に感染の可能性があるものとして、充分注意の上お取り扱い下さい(摂取または吸入しないで下さい)。
- 全ての検体、微生物培地、そして検体を接種した製品は伝染性であるものとして適切にお取り扱い下さい。試験に用いる細菌グループの無菌操作と通常操作の留意事項は以下のガイドラインに基づきお取り扱い下さい。**安全ガイドライン**： CLSI M-29A, «*Protection of Laboratory Workers from Occupationally Acquired Infection; Approved Guideline – Current Revision*» **操作留意事項**： Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories – CDC/NIH – Latest edition、または各国の規制ガイドラインに従って下さい。
- 本培地を製造原料として使用しないで下さい。

- 有効期限切れの製品は使用しないで下さい。
- パッケージの損傷した製品は使用しないで下さい。
- コンタミネーションの起きている培地または水分の浸出している培地は使用しないで下さい。
- 性能試験は、この添付文書に従った使用方法にて得られた結果を示しています。操作方法を変更すると結果に影響を及ぼすことがあります。
- 試験結果の解釈は、患者背景、検体の由来、コロニー形態および顕微鏡学的形態を考慮して下さい。また必要に応じて、その他の試験方法で結果を確認して下さい。

保管方法

- 箱未開封の状態、2-8°C下で有効期限まで保管可能です。
- 箱開封後セロファン袋中では、2-8°C下で2週間保管可能です。

検体

胃生検材料から直接接種します。

*Helicobacter pylori*は空気と接触することにより発育が悪くなる微好気性細菌です。輸送および培養時にはこの特質を考慮して下さい。

培養開始までに時間がかかる場合には、湿潤かつ酸素が少ない環境を保ち、他の細菌の発育を抑制するような特別な輸送用培地(ポルタジャーム ピロリ)を使用して下さい(2,3)。

使用法

1. 培地を室温に戻します。
2. 検体採取後速やかに接種します：生体組織片をシャーレ上に広げ、エーゼで破碎します。
3. 速やかにシャーレを適当な大気環境下(微好気条件下)に移します。必要に応じてガス発生装置を使用します。
4. フタを下にして37°Cで培養します。用途に応じて、最新の標準法を参照し適切な温度で培養して下さい。通常は3-7日間培養後に結果を読み取ります。7日間培養するまでは陰性と判定しないで下さい。

判定

- 培養後、菌の発育を観察します。
- 分離した微生物の同定には、直接試験および生化学試験を用いて下さい。

品質管理

プロトコール:

本培地の発育指示能は、下記の菌株を用いて試験できます。

- *Helicobacter pylori* ATCC® 43504(微好気環境下で培養)

精度管理限界値:

33-37°Cにて3日間培養後、試験菌株が発育しました。

注意:

培地の用途を考慮し、適切な規制(頻度、菌株数、培養温度)に従って品質管理を実施される事をお勧めします。

留意事項

- 発育の度合は微生物各個体の要求性により異なります。よって、特殊な要求性を有する *H.pylori* のある種の菌株は発育しないことがあります。
- 低頻度の *H.pylori* では、本培地上中に含まれる抗生物質に感受性を示すために、ピロリ寒天培地と非選択培地(コロンビアヒツジ血液寒天培地)との併用を推奨します。

性能

37°Cで細菌 34 菌株(*H. pylori*、グラム陰性菌、グラム陽性菌および嫌気性菌)を用いて評価しました。

発育支持能:

10 株の *H.pylori* では 72 時間以内に発育しました。

選択性:

2 株の *Campylobacter* 属が 3 日以内に発育しただけで、その他の 24 菌株中 22 菌株は、7 日間発育阻止されました。

廃棄処理

使用済みもしくは使用していない試薬の廃棄は他の汚染した廃棄材料と同様、感染性もしくは感染の危険のある製品の取り扱い方法に従って行って下さい。起こりうる危険を適切に考慮の上、各検査室の責任の元、廃棄産物や流出物はそれぞれの危害毒性や度合いを考慮し、地域の適切な規制に従って廃棄して下さい。

参考文献

1. BUCK G. E. – *Campylobacter pylori* and gastroduodenal disease – Clin. Microbiol. Rev., 1990, 3, n°1, 1-12.
2. MAROYE P. – Diagnostic biologique de l'infection à *Helicobacter pylori* – Rev. Fr. Lab., oct. 1999, 316, 47-54.
3. MEGRAUD F. – Méthodes de diagnostic dans l'infection à *Campylobacter pylori* – Méd. et Mal. Inf., 1989, 19, 74-78.
4. SEVIN E., SOUSSY C. J., TANKAVIC J. – *Helicobacter pylori* en 1998 – Feuillet de Biologie, 1998, 34, n°224, 15-28.
5. WARREN J. R., MARSHALL B. J. – Unidentified curved bacilli on gastric epithelium in active chronic gastritis – Lancet i, 1983, 1273-1275.

記号

記号	内容
	品番
	製造元
	保管温度
	使用期限
	ロット番号
	添付文書を参照
	<n>回分の試験を含む

(問い合わせ先)

製品関連

ビオメリュー・ジャパン株式会社

臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

ビオメリュー・ジャパン株式会社

TEL: 03-6834-2666(代表)

*本添付文書は、下記 Web サイトからダウンロードできます。

<http://www.biomerieux-jp.net/>

ビオメリュー・ジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂二丁目 17 番 7 号赤坂溜池タワー2 階

Tel: 03-6834-2666 / Fax: 03-6834-2667

<http://www.biomerieux.co.jp>



bioMérieux SA

376 Chemin de l'Orme

69280 Marcy-l'Etoile/France

Tel.33(0)4 78 87 20 00 /

Fax33(0)4 78 87 20 90

<http://www.biomerieux.com>



BIOMÉRIEUX